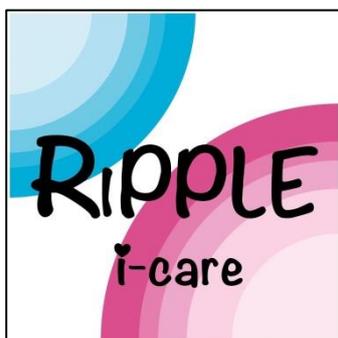


医療的ケア児とその家族の支援を当事者の立場で考え活動する「一般社団法人RIPPLE」を立ち上げました。設立を記念して医療的ケア児の未来を語り合うシンポジウムを開催いたします。講師に土畠智幸先生(医療法人稲生会理事長及び北海道医療的ケア児等支援センター長)をお迎えして、「医療的ケア児の未来と地域の未来」と題した基調講演をして頂きます。ハイブリッドで開催しますので、多くの皆様のご参加をお願いします。

一般社団法人RIPPLE 設立記念 シンポジウム



「RIPPLE」とは、さざ波が広がっていく様子をいいます。
活動の輪が少しずつでも広がっていくことを願って命名しました。

令和4年10月23日(日) 13:00~16:30 参加費無料
宮崎空港2階レセプションルーム(定員:60名・事前予約)
ZOOM ウェビナー(定員:100名)

主催 一般社団法人RIPPLE(代表理事:愛甲晃子)
協賛 特定非営利活動法人障害者自立応援センターYAH!DOみやざき
特定非営利活動法人PA(パーソナル・アシスタント)みやざき
後援 宮崎県、宮崎市、宮崎県医師会、宮崎市郡医師会、宮崎市自立支援協
(予定) 議会、宮崎日日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日
本新聞社、MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎、宮崎ケーブルテレビ、
エフエム宮崎

予約及び問合せ先

〒880-0842 宮崎県宮崎市青葉町52-1 YAH!DOみやざき内
一般社団法人RIPPLE 設立記念シンポジウム事務局(担当:山之内、永山)
TEL: 0985-31-4800 FAX: 0985-75-0150 E-mail: yahdo@r9.dion.ne.jp

○当日日程

- 13:00 開会挨拶、団体設立趣旨説明
- 13:20 基調講演「医療的ケア児の未来と地域の未来」
土畠智幸氏（医療法人稲生会理事長、北海道医療的ケア児等支援センター長）
- 14:30 基調報告「宮崎市の医療的ケア児を取り巻く現状」
- 15:00 パネルディスカッション
「医療的ケア児と家族の未来を一緒に考えよう！」
パネラー 関 由佳氏：四つ葉の会副会長
澤田一美氏：はながしま診療所副院長
松田律子氏：県立せいりゅう支援学校校長
坂本郁代氏：こどもとおとなの訪問看護ろけっと★ステーション所長
松田美咲氏：登録ヘルパー、宮崎大学教育学部特別支援教育課程学生
コーディネーター 山之内俊夫氏：障害者自立支援センターYAH! DO みやざき副理事長
宮崎市自立支援協議会・医療ケア支援部会長
- 助言者 土畠智幸氏
- 16:30 終了

○基調講演趣旨

2016年の児童福祉法改正、2021年の医療的ケア児支援法施行を経て、全国で医療的ケア児支援の体制構築が進んでいる。重症児デイサービスなど福祉事業所の拡大に加え、保育所や学校での医療的ケア児の受け入れが広がっている。都道府県単位でも医療的ケア児支援センターが設置されるなど、自治体の取り組みも進んでいる。

医療的ケア児はその日常生活において「医療」を必要とすることから、その支援においては看護師など医療職の配置が求められることが多い。医療職を配置することで「安全」という観点では「安心」の度合いが高まるが、子どもたちの発達・成長においては「医療」は時に弊害を生む。福祉や特別支援教育もまた、その「支援」によって子どもたちの未来の可能性を狭めてしまうことがある。専門職による「支援」が、長期的には「専門職への依存」を生んでしまうことがある。医療的ケア児支援の体制構築が広がる中、このような「支援という名の支配」を生まないよう、「医療的ケア児の未来」を常に意識する必要がある。

私は、2006年から医療的ケア児の訪問診療を始め、その後16年間にわたり、北海道において小児在宅医療や医療的ケア児支援の体制構築に取り組んできた。「医療」や「支援」という枠組みで子どもたちやその家族のために良かれと思って行ってきたことが、結果として子どもたちの未来の可能性を狭めてしまったかもしれないと思うことが何度もあった。当法人では、神経難病などの医療的ケア者にも関わっているが、自立生活を送る当事者からは、医療的ケア児の「自立」について多くを学んできた。ここ数年は、医療的ケア児の未来の可能性を広げるという観点から、教育分野の支援に最も多くの時間を割いている。地域の支援者が本気で応援することで、医療的ケア児が色々なことに挑戦し、家族や支援者が想像もしなかった未来につながっているケースもある。2018年度からは文部科学省の実践研究事業として、高校卒業後の障害者の学びの場をつくる「みらいつくり大学校」という生涯学習活動も行っており、北海道教育委員会も合流して北海道全体に学びの場を広げるために活動している。

医療や福祉などの専門職が安心・安全のために先回りして全ての支援を行うことで、医療的ケア児は挑戦や失敗をすることができなくなってしまう。全ての子どもたちが安心して挑戦や失敗をすることができる地域をつくるのが、子どもたちの未来や地域の未来につながる。その意味で、医療的ケア児の未来を考えることは、地域の未来につながっている。（土畠智幸氏より）



○ZOOMウェビナー申し込みURL

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_aQeD0K4MS269qqbj84S6IA

参加申込用QRコード ⇒

